

令和 5 年 5 月 11 日現在

機関番号：37111

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2019～2022

課題番号：19K02519

研究課題名（和文）専門学校教員のキャリア形成過程の類型化

研究課題名（英文）Types of Career Development for Teachers of Specialized Training College.

研究代表者

植上 一希（UEGAMI, KAZUKI）

福岡大学・人文学部・教授

研究者番号：90549172

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,300,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、質的調査をもとに多種多様な専門学校教員のキャリア形成過程のデータを収集し、それらのデータをもとに、専門学校教員のキャリア形成過程の特徴を明らかにした。主たる研究成果として、『看護展望』47巻13号にて、植上一希「専門学校教員とは 専門性とキャリア形成の特徴」を論文として発表している。また、日本教育学会第79回大会において「専門学校教員のキャリア形成と専門性」を報告した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

これまで明らかにされてこなかった、専門学校教員のキャリア形成過程について、33名の専門学校教員への質的調査をもとに、その実態と特徴を明らかにした点が、本研究の学術的意義である。また、専門学校教員の資質能力の向上が政策的にも実践的にも重要な課題になっており、専門学校教員の資質能力向上の体系化という政策的課題に対して、本研究は理論的根拠の一部を構築するという社会的意義も有している。

研究成果の概要（英文）：This research collected data on the career development process of a wide variety of teachers of specialized training college based on qualitative research, and based on those data, clarified the characteristics of the career development process of teachers of specialized training college.

研究分野：教育学

キーワード：専門学校教員 専門学校教員のキャリア形成 専門学校 専門学校教育の質保証・向上

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

専門学校教育は日本における職業教育・青年期教育の中核を担ってきたが、その実態解明は不十分であり、とくに専門学校教員を対象とする研究はほとんどなされていない。学術的のみならず、政策的・実践的にも必要性が高まっている専門学校教員研究の推進のためには、多種多様な専門学校教員のキャリア形成過程の実態把握とその類型化がなされなければならない。こうした問題意識から、平成 28 年度から平成 30 年度にかけて実施した基盤研究(C)「専門学校教員の『職業的アイデンティティ』『役割認識・専門性認識』に着目して」(研究代表者：植上一希)を継続・発展させる形で、本研究を開始した。

### 2. 研究の目的

本研究では、専門学校教員研究を推進していくための有効かつ核心的な「問い」として「専門学校教員のキャリア形成過程はどうなっているのか」という「問い」を設定した。本研究は、これまで焦点が当てられることがなかった専門学校教員のキャリア形成過程を対象とする初めての本格的な研究である。

専門学校教員のキャリア形成過程の多様性は、専門学校教員を規定する制度の緩やかさと、専門学校教育が対象とする職業世界の多様性に起因すると考えられる。専門学校教員のキャリア形成過程を規定する諸要因に着目し、理論的整理を行う点に本研究の学術的独自性がある。

また、専門学校をめぐるのは、その質保証・向上において専門学校教員の資質能力の向上が政策的にも実践的にも重要な課題になっている。これらの政策立案ならびに、各専門学校における教育改善の取組みに対して波及効果があるという点でも、本研究が理論的整理をもとに行う専門学校教員のキャリア形成過程の類型化は、社会的意義を有すると言える。

### 3. 研究の方法

専門学校教員のキャリア形成過程の実態を把握するために、本研究では、専門学校教員へのインタビュー調査を実施し、質的データを収集する方法を設定した。

調査件名	専門学校教員のキャリア形成過程の類型化に関するインタビュー調査
調査方法	インタビュー調査(一部オンライン)、半構造化インタビュー。
調査項目	基礎情報(学科名など)、経歴(学歴・職歴など)、専門学校教員になった理由・契機、担当授業・校務分掌、必要な資質能力と困難、今後のキャリアプランなど。
調査期間	令和元年～令和3年
調査対象	一般社団法人全国専門学校教育研究会ならびに一般社団法人福岡県専修学校各種学校協会に協力依頼。調査承諾を得た専門学校教員 33 名(専任教員)。

データ収集後は、専門学校教員のキャリア形成過程について、<専門学校教員になるまで>と<専門学校教員になった後>という 2 つの段階に区別し、キャリア形成を構成する諸要因の特徴・関連を検討する形で分析を行った。

### 4. 研究成果

本研究では、専門学校教員のキャリア形成過程について、主に以下の点を明らかにすることができた。

第 1 に専門学校教員の参入前キャリアの多様性とその類型について。専門学校教員のキャリア形成ルートは、学歴、職歴、動機において多様であり、初等中等教員や大学教員の高い同質性とは対照的なものとなっている。とはいえ、学歴において、専門卒・大卒がそれぞれ 4 割程度を

占めること、また職歴において関連職歴経験者が半数近くを占めることなど、一定の傾向はあり、具体的な動機や経緯についても類型化は可能であることがわかった。今後、本格的な量的調査をもとに、類型化を進めていきたい。

第2に、専門学校教員の参入後キャリアにおける、参入前キャリアとの関連性という観点の重要性である。専門学校教員は初等中等教員とは異なり教員養成課程を経ておらず、参入後に専門学校教員として必要となる知識・技能や価値観は、参入前の学歴・職歴において獲得したものに依拠することがわかった。

第3に、専門学校教員の参入後キャリアを支えるための職業教育マネジメントという観点の重要性である。専門学校教員の業務は多岐にわたり、学校・分野によって、配置や研修体制も大きく異なることが明らかになった。初等中等教員とは異なり、参入後のキャリアモデルも明確ではなく、職務規程や研修体制も十分に確立されていないなか、専門学校教員のキャリア形成を支えていくための職業教育マネジメントを検討していく必要性が高いと言える。

なお、これらの点について、「5」に記した発表論文や学会発表の他に、2023年度以降においても継続的に論文を発表していく予定である。その一つとして、植上一希・佐藤昭宏・丹田桂太「専門学校教員の参入前キャリアの検討 - 学歴・職歴に焦点を当てて」『人文論叢』第55巻1号（6月刊行予定）。また、本研究を通して得られた知見をもとに、三菱総合研究所が実施した「職業実践専門課程の質保証・向上のための実態調査」（2023年）に植上は調査設計助言者として、企画・設計・分析に関わった。本調査は専門学校教員のキャリア形成についての量的調査である。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計6件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 植上一希・藤野真	4. 巻 3
2. 論文標題 キャリア教育プログラム開発	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 福岡大学研究部論集E：総合科学編	6. 最初と最後の頁 1,262
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 二宮祐・小山治・児島功和	4. 巻 12
2. 論文標題 「実務家教員」の系譜 政策と慣行	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 関西大学高等教育研究	6. 最初と最後の頁 123-132
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 植上一希・丹田桂太	4. 巻 7
2. 論文標題 地方圏における専門学校の取り組みと学生の学びに関する一考察	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地域共生研究	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 二宮祐・小山治・浜島幸司・児島功和	4. 巻 第41巻第1号
2. 論文標題 「新しい専門職」として大学で働きたいのは誰か：任期の有無と仕事満足度に着目して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 大学教育学会誌	6. 最初と最後の頁 117,126
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 植上一希	4. 巻 第27巻1号
2. 論文標題 職業社会の現代的意義について - 若者の「社会化」を支える職業教育 -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 介護福祉教育	6. 最初と最後の頁 5, 12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 植上一希	4. 巻 第47巻13号
2. 論文標題 専門学校教員とは 専門性とキャリア形成の特徴	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 看護展望	6. 最初と最後の頁 10, 15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計3件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件)

1. 発表者名 植上一希、佐藤昭宏、児島功和、瀧本知加、丹田桂太
2. 発表標題 専門学校教員のキャリア形成と専門性
3. 学会等名 日本教育学会第79回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 瀧本知加
2. 発表標題 専門学校教員のライフストーリー研究 資格教育分野の教員を対象として
3. 学会等名 日本教師教育学会第30回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 児島功和
2. 発表標題 大学教員は自身の「困難」を共有できているのか？
3. 学会等名 唯物論研究協会第43回大会
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 鈴木 学、植上 一希、藤野 真	4. 発行年 2022年
2. 出版社 大月書店	5. 総ページ数 224
3. 書名 大学生になるってどういうこと？ [第2版]	

1. 著者名 牧野 篤	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 256
3. 書名 社会教育新論	

1. 著者名 佐々木英一、吉留久晴、石嶺ちづる、西美江、伊藤一雄、植上一希、瀧本知加	4. 発行年 2020年
2. 出版社 溪水社	5. 総ページ数 148
3. 書名 職業教育研究の諸相	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	瀧本 知加  (Takimoto Tika)  (10585011)	東海大学・九州教養教育センター・准教授   (32644)	
研究分担者	児島 功和  (Kojima Hirokazu)  (80574409)	山梨学院大学・経営学部・准教授   (33402)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関